

広報

No.232

くまがた

平成4年10月15日

発行・編集 国見町総務課

目次

グラフで見る平成3年度決算……	2～4
前町長菊地政治さん逝去……	5
交通事故ゼロに一丸……	6
健康世帯等を表彰……	7
おしらせ……	8～9
公民館だより……	10～11
わだい……	12



全力で
記録の更新を
狙う

'92 10月

町小学校陸上交歓会は10月1日、藤田小校庭で開かれました。

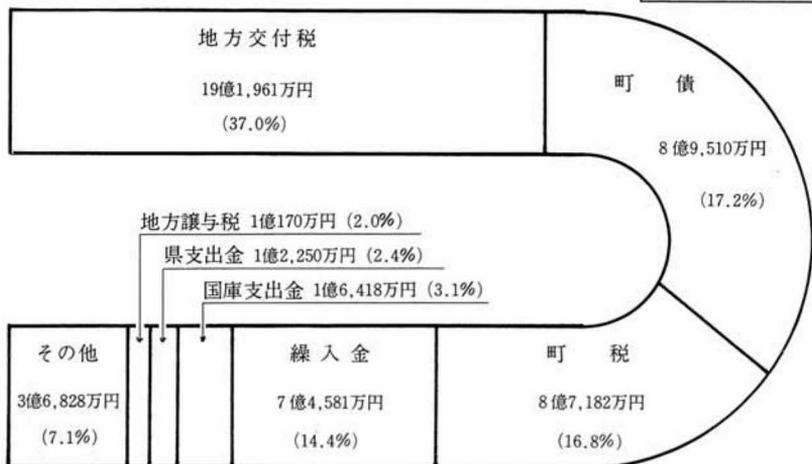
町教育研究会、町教委の主催で、町内小学校の6年生全員が出場し、100m、800m（女子）、1,000m（男子）、400mリレーの4種目に力走。

児童の皆さんは、友達や先生、お父さん、お母さんの声援を受けながら力の限り走り、自己記録の更新を目指しました。

年度決算(一般会計)

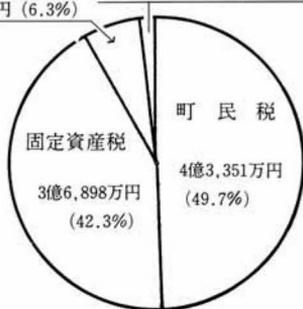
歳 入

五十一億八千九百万円



町税の内訳

町たばこ消費税 5,442万円 (6.3%)
 軽自動車税 1,297万円 (1.5%)
 特別土地保有税 194万円 (0.2%)



平成3年度 決算報告

9月定例町議会で、平成3年度一般会計と特別会計の各決算が認定されました。決算とは一定期間内における収入及び支出の総実績を明らかにすることで、町民の皆さんが納めた税金はいくらか、その税金はどのように使われたのか、そのあらましを見てみましょう。

平成3年度の一般会計の決算額は、歳入が51億8,900万円、歳出が50億8,810万円です。歳入歳出とも前年度と比較して17%を越す伸びとなりました。

歳入歳出差引額は1億90万円であり、繰越明許費繰越額2,853万円を差し引いた実質収支は7,238万円の黒字決算となりました。この実質収支額から地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額3,620万円を差し引いた額(3,618万円)が平成4年度に繰越されました。



▲快適で住みよい町づくり
(板橋東住宅団地)

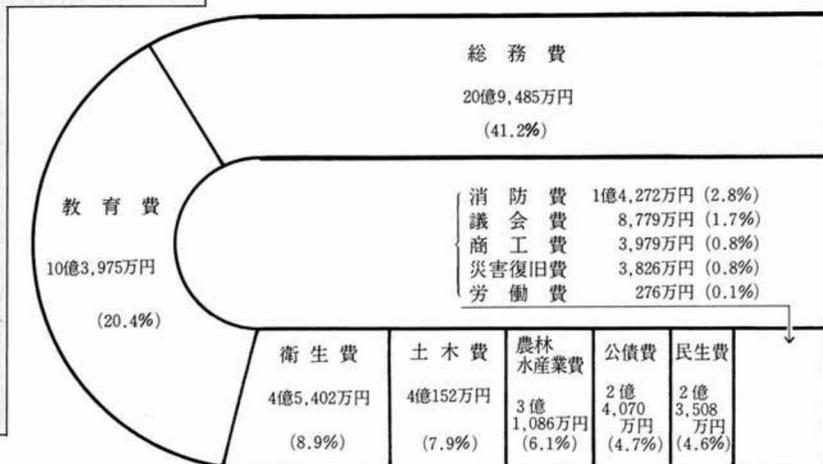


▲活力ある町づくり
(国見町観月台文化センター)

歳 出

グラフで見る 平成3

五十億八千八百十万円



〈特別会計決算〉

○国民健康保険特別会計

・歳入 7億5,668万円
 ・歳出 6億1,954万円

○老人保健特別会計

・歳入 5億8,658万円
 ・歳出 5億7,090万円

○貝田簡易水道特別会計

・歳入 1,545万円
 ・歳出 1,444万円

○育英特別会計

・歳入 573万円
 ・歳出 532万円

○公共下水道事業特別会計

・歳入 1億4,133万円
 ・歳出 1億3,992万円

○渇水対策施設特別会計

・歳入 4,082万円
 ・歳出 3,711万円

○土地開発事業特別会計

・歳入 8億2,355万円
 ・歳出 7億5,965万円

〈財産区会計決算〉

○入山財産区特別会計

・歳入 1,116万円
 ・歳出 1,103万円

○藤田財産区特別会計

・歳入 68万円
 ・歳出 62万円

○大木戸財産区特別会計

・歳入 17万円
 ・歳出 10万円

○石母田財産区特別会計

・歳入 98万円
 ・歳出 81万円



▲将来を担う人材育成
 (森江野小学校・幼稚園)



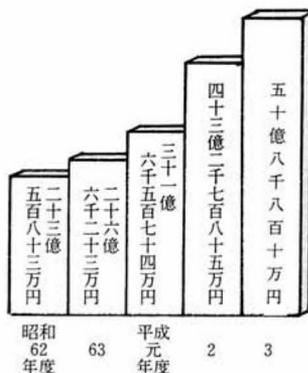
▲福祉と健康の町づくり
 (基本健診)

水道事業決算額

収益	収入	営業収益	1億4,824万円
		営業外収益	1,342万円
		計	1億6,166万円
支出	支出	営業費用	1億1,975万円
		営業外費用	1,134万円
		計	1億3,109万円
資本的収支	収入	工事負担金	990万円
	支出	建設改良費	4,964万円
		企業債償還金	405万円
		計	5,369万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額4,379万円は、建設改良積立金3,858万円、減積立金405万円及び当年度消費税資本的収支調整額116万円で補てん。

一般会計
決算額(歳出)の推移



<p>固定資産税</p> <p>30,672円</p>	<p>町民税</p> <p>36,036円</p>	<p>地方交付税</p> <p>159,568円</p>	<p>歳入</p> <p>1人あたりでは</p> <p>入ってきたお金や使われたお金を、町民一人当たりで割ってみるとどうなるでしょう。 (一般会計の場合)</p> <p>(人口は、平成3年3月31日=12,030人)</p>
<p>特別土地保有税</p> <p>161円</p>	<p>軽自動車税</p> <p>1,078円</p>	<p>町たばこ消費税</p> <p>4,524円</p>	

<p>土木費</p> <p>33,376円</p>	<p>衛生費</p> <p>37,741円</p>	<p>教育費</p> <p>86,430円</p>	<p>総務費</p> <p>174,136円</p>	<p>歳出</p>
<p>消防費</p> <p>11,864円</p>	<p>民生費</p> <p>19,541円</p>	<p>公債費</p> <p>20,008円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>25,841円</p>	

前町長 菊地政治さん 逝去される



故 菊地政治さん

整備、町民プール・テニスコートの建設など教育、スポーツ施設の充実、宮宿住宅団地の造成分譲事業など多大な業績を残されました。ここに、故菊地政治さんのご功績をたたえ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

前町長菊地政治さん(89)は、かねて病氣療養中でありましたが、去る九月二十七日逝去されました。

菊地さんは昭和三十四年三月本町議会議員に初当選され、以来、連続七期当選、この間、経済、建設各常任委員長、昭和四十二年には副議長となり、昭和四十九年からは実に十年余の長きにわたり議長要職を歴任され、町勢の進展に献身されました。

さらに、昭和五十九年十一月から昭和六十三年十一月まで町長として、町の発展と町民の福祉向上のために尽力されました。

町長在任中は県北中学校の改築をはじめ、町民運動場の

ウォーキングで

健康増進を図る

「あつかし山奥州合戦記念・第五回町民ウォーキング大会」は九月二十日開かれ、参加した約二百人の親子連れなどが厚樫山を目指して、ウォーキングを楽しみながら健康の増進を図りました。

コースは、役場前を出発し、山道を上って目的地の厚樫山山頂に到着した後、同じコースを引き返す一〇・六キロの道り。

光明寺・東越太鼓保存会、川内・太鼓愛好会の皆さんが勇壮に打ち鳴らす太鼓を合図にスタートし、途中、用意された冷たい水でのどを潤しな



▲元気に歩く参加者の皆さん

がら、約一時間半で山頂に着。山頂では、眼下に広がる信達平野を一望に眺め、ウォーキングの楽しさを満喫していました。

ゴールとともに完歩証を受け取り、閉会式では最年長賞、最年少賞などの特別賞が贈られ、受賞者は思いがけない賞に喜んでいました。

綱引大会で

四位に入賞

空港まつり

来年三月に開催する福島空港をPRするために九月二十七日、「福島空港開港まつり」が開かれました。

エアポートウォークラリーをはじめ、多彩なイベント

が練り広げられたなか、県内から十七チームが参加し滑走路で行われた綱引大会に「オール伊達部」を編成し、本町選手団十名が出場。見事、第四位に入賞しました。

選手の皆様、ご苦労さまでした。



▲力いっぱい綱を引く町選手団

上位を狙い

第二次合宿

「町駅伝競走部」の部員の皆さんは、十一月二十二日に開催される第四回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(略称・ふくしま駅伝)での上位入賞を目指し、九月十二、十三日の二日間、福島市高湯で第二次合宿を行いました。

合宿には二十五名が参加し、



▲本番に向け練習に励む皆さん

吾妻小富士での高地トレーニングや起伏ロードなどに汗を流すとともに、チームの輪を一層深めました。

阿武隈川左岸線の交通規制について

伊達地方衛生処理組合ゴミ焼却施設の建設工事に伴い、次のとおり交通規制(一方通行)が行われております。通行する際は、十分にお気を付けてください。

◇期間

平成4年10月1日〜平成6年5月30日まで

◇場所

阿武隈川左岸線

◇規制内容

伊達崎橋から産ケ沢川へ一方通行

交通事故ゼロに一丸

交通安全

標語コンクール表彰式

森江野小・大枝小



▲森江野小学校

桑折地区交通安全協会森江野部会(戸野平部会長)の交通安全標語コンクール表彰式は九月二十一日、森江野小学校(伊勢文朗校長)の朝の全校集会の席上行われ、十人の入賞者を表彰しました。

伊勢校長、戸野部会長が「森江野地区から交通事故が起きないようにみんなで注意しましょう」とあいさつ。入賞者



▲大枝小学校

に賞状と盾が手渡されました。十人の児童は、完成したばかりの立て看板の前でその言葉の意味を発表し、全校生に交通安全を呼び掛けました。

また、交通安全協会大枝分会(酒井正人会長)の標語コンクールの表彰式が九月二十八日、大枝小学校(大槻太校長)で行われ、八人の入賞者を表彰しました。表彰式に続き、全校生で標語を読み上げ、交通事故ゼロを誓いました。

標語が入った立て看板は、両地区内の通学路に設置されました。

入賞者と児童名は次の通り

です。(敬称略)

〔森江野小学校〕

▽まがりがかど とまってる
たね みぎひだり(二年・菊地めぐみ)▽しんこうき みんなのふじを いのってる(二年・菊地美奈)▽車はねとおくに見えても すぐく

るよ(二年・佐久間織絵)▽なれた道 ちよっとのゆだん

が 事故のもと(三年・佐久間正則)▽はくたちの心のゆるみ じこのもと(三年・八巻大)

▽あぶないよ 急なとびだし ふざけっこ(四年・佐野奈津美)▽青しんこう

それでも 右みて左みて(四年・佐藤いずみ)▽車のかげ

にもう一台 左右確認もう一度(五年・阿部貴子)▽シ

トベルト 心のベルト 命のベルト(六年・佐藤光克)▽

おじいさん 事故に気がつく長生きを(六年・宝観美修)

(大枝小学校)

▽あぶないよ いまみえな

いくるまも すぐそばに(一年・佐久間恵利)▽わたるま

か かならずみてね みぎひだり(一年・佐藤裕介)▽黄

色だよ つぎまでまともね くりせずに(二年・酒井沙也

香)▽毎日毎日 あなたは赤信号? 青信号(二年・半澤

智恵美)▽気をつけようか

かしも見ている 交通安全(三年・佐藤美幸)▽道路全

は ふざけちゃいけない遊ばない(四年・齊藤亨)▽危

ないぞ とびだす一歩が 死の一步(五年・佐藤武志)▽

家族のえがおが見たいなら ゆっくりゆとりで 安全運転

(六年・八島寛恵)

事故防止を訴え

鼓笛パレード



▲交通安全を呼び掛けた鼓笛パレード

「支えます 軽いベルトが命の重み」をスローガンにスタートした秋の全国交通安全運動期間中の九月二十二日、藤田小学校五、六年生児童による鼓笛パレードが行われ、街頭に繰り出した町民の皆さま

んに交通事故防止を訴えました。

町福祉センター前で出発式を行ったあと、交通安全協会藤田部会の皆さんを先頭に、リングバトン、フラッグパトーン隊、鼓笛隊が続き、「藤田小学校讃歌」「線路はつづくよどこまでも」「浪漫飛行」などの軽快な演奏を披露しながら藤田小学校までをパレード、事故防止を呼び掛けました。

テント村で

安全運転を呼び掛け

町交通対策協議会では「秋の全国交通安全運動」期間中の九月二十五日、貝田地内の国道四号線沿いで交通安全テント村を実施しました。

テント村には富永町長、本田桑折署長をはじめ、桑折地区交通安全協会見方部会、交通安全母の会、国見ライオンズクラブ、町商工会、シルバークラブが参加しました。約四十人が参加しました。

参加した皆さんは、通行するドライバにチャシヤボケットティッシュ、花の種などを配り「安全運転をお願いします」と呼び掛けました。

健康世帯・70歳以上
で無受診の方を表彰

平成3年度中(平成三年四月一日から平成四年三月三十一日)の健康世帯と70歳以上で無受診の方の表彰式が十月七日、町福祉センター講堂で行われました。

表彰を受けたのは、四十九世帯と五十六人の健康老人の皆さんです。

表彰式に先立ち、公立藤田総合病院副院長の朽木渉先生(「日常診療面からみた成人病あれこれ」と題した健康講演会が開かれ、受講された皆さんはわかりやすくユーモアあふれるお話しに、熱心に聞き入っていました。

健康世帯 (敬称略)

- ◆14年連続世帯 吉田タカ(貝田)
- ◆9年連続世帯 大竹竹夫(本町)
- ◆8年連続世帯 上沢芳正(大木戸)
- ◆7年連続世帯 鴨田常雄(小坂)
- ◆6年連続世帯 高橋榮子(太田川)
- 松浦伍郎(築館)

- ◆4年連続世帯 新妻準(錦町) 武田一郎(泉田)
- 村上善衛(徳江北)
- 佐藤要蔵(北部)
- ◆3年連続世帯 佐藤恵子(小坂) 菅野よし子(内谷東) 小幡喜一(第三) 村上アキエ(第四)
- 佐藤キク(山根)
- ◆2年連続世帯 佐藤れい子(宮町北) 長谷川昭寿(板橋) 鈴木フミ(板橋) 高野久吉(鳥取) 八巻イト(第十二) 佐久間キイ(第十二) 長谷川春造(大木戸)
- ◆1年世帯 富永武夫(錦町) 秦經夫(大町北) 村上春郎(本町) 小野貞夫(宮町南) 佐久間貞勝(宮町北) 加藤新(町東) 高橋竹治(山崎北)
- 浅野ユイ(滝山) 梅谷純孝(泉田)
- 八巻政市(第七) 佐野貞治(第八) 佐藤孝治(貝田) 佐藤年光(貝田)
- 永山キキ(貝田) 桜澤忠市(光明寺) 後藤忠一(高城) 松浦久一(大木戸)
- 吉川英壽(山根) 鈴木鐵男(中部) 斎藤幸衛(川内)
- 後藤昌伸(川内) 鈴木美八(夫(川内) 後藤ナミ(川内) 佐藤次郎(山崎小館) 高橋

70歳以上で
無受診の方 (敬称略)

- 眞理子(山崎小館) 八巻吉子(源宗山西) 後藤澄男(源宗山西)

- 新妻準(錦町) 後藤ヨテ(大町南) 後藤治平(大町南) 平館きよ子(大町北)
- 横山辰雄(大町北) 笠原新太郎(石母田北) 菊地アキ(石母田原) 松浦從子(石母田原) 村井庄徳(石母田原) 斎藤三蔵(石母田西) 高橋キヨ(山崎北) 浅野ユイ(滝山) 渡辺ミヨ(滝山)
- 吉田ハル(山崎館) 一條ヨシ(太田川) 渡辺セン(太田川) 朽木勝夫(前田) 小野寺テル(泉田中) 佐藤ヨシイ(泉田中) 田中ハツ(第一) 佐久間イネ(第一)
- 佐久間八郎(第二) 第三喜一(第三) 武田フミ(第三) 斎藤リン(第四) 斎藤イネ(徳江北) 佐藤充作(第七) 佐野謙(第八) 佐野貞治(第八) 佐野裕子(第八)
- 村上カネ(第九) 村上正夫(第九) 佐久間一衛(第十二) 菊地春樹(第十二) 大槻清(貝田) 松田タケヨ(貝田) 遠藤重俊(光明寺) 忍いわを(大木戸) 佐藤キ

9月7日 献血ありがとうございました

ク(山根) 佐藤カメヨ(原町) 桜沢吉則(並柳) 佐藤豊太(北部) 鈴木カツイ(川内) 鈴木フサノ(川内) 鈴木カン(川内) 瀬戸寿郎(上野) 熊坂善寿(内谷東)

佐久間ろく(第一) 中村政治(山崎小館) 村上アキエ(第四) 菊地キチ(第十) 高橋竹治(山崎北) 中野勇(鶏町) 佐藤フサ(北部) 佐藤次郎(山崎小館) 佐藤ヨシコ(徳江北)

◎印は成分献血協力者です
◎印は四〇〇ml協力者です
(一般)

◎阿部 洋一 蓬田 笑子
◎佐藤美津子 佐藤 喜次
◎大塚 信子 島山 江美
◎山口 祐子 吾妻 幸二
◎栗原 幸恵 伊東 芳子
◎佐藤ひろみ 内池 育男
◎桐沢みよ子 半澤美佐子
◎草野 康子 佐藤クニ

◎平館 浩

◎JA福島国見町

◎佐藤長一 ◎星野 美和
◎岡崎 昇 八島 正則
◎藤阪 敏幸 彦坂 幸恵

- ◎小林 幸夫
- ◎コイブマート国見
- ◎本間 都
- ◎渡谷 利子
- ◎佐久間夏子
- ◎半沢アサ子
- ◎大岩機器工業所国見工場
- ◎吾妻 一利
- ◎橋 博幸
- ◎知念 利彦
- ◎古山 壽男
- ◎徳江 敦
- ◎刀根 博幸
- ◎実沢 光夫
- ◎鳥越 之夫
- ◎中野 義夫
- ◎沼田 文夫
- ◎大貫 芳男
- ◎鈴木 秋二
- ◎鈴木 弘子
- ◎武田 良子
- ◎(商工会員)
- ◎佐久間ツヤ子
- ◎佐久間ヨネ
- ◎(国見町役場)
- ◎安田 博三
- ◎羽根田孝司
- ◎阿部 正一
- ◎穴戸 浩寿
- ◎松浦 幸雄
- ◎星野 惠美
- ◎古内 忠行
- ◎高橋 和江
- ◎(公立藤田総合病院)
- ◎小林 幸夫
- ◎稲村あや子
- ◎佐藤 玲子
- ◎半沢アサ子
- ◎仲野 周美
- ◎鈴木 一男
- ◎八巻 信詞
- ◎長谷川栄蔵
- ◎後藤 寿彦
- ◎久保田昇寿
- ◎八島 亨
- ◎小林 信明
- ◎永井 義次
- ◎遠藤 利嘉
- ◎鈴木 俊一
- ◎本田 幸吉
- ◎金間 悟
- ◎佐久間正男
- ◎高橋 芳男
- ◎菅野 信朗
- ◎吉田 義勝
- ◎佐藤 光男
- ◎斎藤 忠一
- ◎蓮田 恭子



集 券
明るい
長寿社会づくり
「三世代の主張」

二十一世紀の超高齢化社会を目前にひかえた現在、人生八十年時代を潤いと安らぎのある社会とするために、若い世代から高齢者までの県民一人ひとりが、長寿社会の諸問題について理解を深め、高齢者がこれまで培ってきた豊かな知識と経験・技能を地域社会の中で発揮できるような、システムを築いていくことが大切です。

希望と活力に満ちた長寿社会づくりに取り組むための意見・主張を、次の要領で募集します。

◇募集内容
①小学生の部・中学生の部：
おじいちゃん、おばあちゃんをテーマに祖父や祖母、近所のお年寄りとの日常的な交流や伝承教室などを通

じて、学んだことや感じたことをお寄せください。

②高校生・一般・高齢者の部
：「希望と活力に満ちた長寿福祉社会づくり」をテーマに、家庭・職場・地域、そして社会とのかかわりの中で、高齢者との触れ合いやボランティア活動を通して考えていることや訴えたいことについて主張をお寄せください。

◇応募資格
福島県内に居住している方に限ります。

◇応募規定
・四百字詰原稿用紙五枚以内
（小学生は三枚以内）、縦書き、一人一篇に限ります。

・学校、クラス単位で応募される場合は、一クラス五篇までに限ります。

◇締 切
平成 4 年 11 月 30 日 (月)
(当日消印有効)

◇表 彰
・最優秀賞：各部門ごと一篇
・優秀賞：各部門ごと二篇

・住 宅：各部門ごと若干

◇応募 問：問い合わせ先
◎90 福島市杉妻町 5 番 75 号
県庁東分庁舎一号館
助福島県長寿社会推進機構
☎ 24 2 2 2 5

病院通院バス
鳥取、内谷も運行

日頃、公立藤田総合病院の患者の皆さんにご利用いただいている通院バスの路線は、町道一〇二号線の改良工事完成に伴い、次のとおり停留所を増設します。

◇実施期間
平成 4 年 10 月 20 日から

◇停留所
・鳥取：佐藤孝男さん宅前
(バス到着時間 8 時 44 分、10 時 43 分)

・内容：鴨田商店さん前
(バス到着時間 8 時 45 分、10 時 42 分)

◇その他
冬期間(%)は、凍結等のため、この路線は運休になります。

■問い合わせ先
公立藤田総合病院庶務課
☎ 52 1 2 1

定期点検は
車の愛情チェック

ドライバールの皆さん、マイカーは元気ですか。
交通ルールを守った、安全運転を心掛けていますか。ドライバールにとって、年二回の定期点検で車の安全性を確認

し、公害を防止することはとても大切なことです。
車は家族と同じです。愛情がなければ、時には故障することだってあります。その、ちょっとしたトラブルが、思わぬ大きな事故を招いてしまうこともあります。

快適で安全なカーライフを楽しくするために、年二回の愛情チェックでマイカーを優しくいたわってください。

■問い合わせ先
◎90 福島市吉倉字吉田 54
東北運輸局福島陸運支局整備課
☎ 46 0 3 4 5

国民年金
希望すれば
加入できる人

次のような方は、希望すれば国民年金に加入できます。
お気軽に住民福祉課年金係にご相談ください。

・60歳未満の方で、厚生年金や共済組合から老齢(退職)年金を受けている方

・60歳以上65歳未満の方(老齢基礎年金を受けていない方)

・海外にお住まいの方(20歳以上65歳未満)

(注)昼間部の学生は、平成3年4月から当然加入になります。

10月26日
原子力の日

総電力の3割を
まかなう原子力

エネルギー資源の約八割を海外からの輸入に依存する日本では、各エネルギー源をうまく組み合わせ安定した供給をしていくことが必要です。なかでも、技術力によって生み出された原子力によって温暖化の原因となるガスを排出しないなど、さまざまな特長をもち、主要なエネルギー源として、現在では日本の総発電電力の約三割をまかなっています。

10月26日は「原子力の日」です。この日は、昭和三十八年に茨城県の日本原子力研究所東海研究所で、日本で初めて原子力による発電に成功したことを記念して設けられ、今年で二十九回目を迎えます。

この日を機会に、みなさんも原子力発電について一度考えてみてはいかがでしょう。

■問い合わせ先
◎52 1 1 1 内線 1 3 5

国の制度で安心

●教育ローン

国民金融公庫では、高校・短大・大学・各種学校等へ進学されるお子様や在学中のお子様をお持ちのご家庭に、教育資金をご融資しています。

在学資金はいつでも受付中。入学資金は合格発表前でもお申し込みができます。お早めにお気軽にご相談ください。

入学時の学校納付金、受験費用、住居費用、在学中の授業料、下宿代など使いみちは幅広くご利用いただけます。

◇融資金額

学生・生徒一人につき百五十万円以内。

◇返済期間

・高校、短大、専修学校等：

戸籍の窓口

(9月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
玲美(れみ)	高橋 徳一	石母田原
晴香(はるか)	佐藤 勝吉	石母田東
昭広(あきひろ)	菊地 克之	第十
圭(けい)	高橋 幸夫	宮町北
佑樹(ゆうき)	鎌水 正志	錦町
尚貴(なおき)	後藤 実	山崎崎谷
讓司(じょうじ)	高草木勇一	貝田

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
小池 芳典	第三
徳江 紀子	大町南
菊地 智幸	第十
須田 美江子	霊山町

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
後藤 あきよ	70	小坂
菊地 政治	69	石母田東
佐久間 ハン	88	第十二

五年以内
・大学、高専等：六年以内

◇返済方法
毎月元利均等返済(ボーナス月増額返済やステップ償還もできず)

◇利率
年六・〇%(変更される場合があります)

■問い合わせ

〒900 福島県大町1の16
国民金融公庫福島支店
電話 232 341

西分署だより

住宅防火診断を受けましょう

近年、住宅火災による死者が建物火災の九パーセントを占めていること、高齢化に伴いお年寄りの被害が

多いことから、住宅防火対策の推進が重要な課題となっています。

このため、国では住宅火災対策推進の基本方針を決定し、防火意識の高揚、住宅防火診断の実施、住宅用防災機器の開発・推奨などの施策を進めています。

私たちの健康を守るためには、日頃から、身体の状態をチェックすることが必要であるように、皆さんの住宅についても、火災を起こさず、万一火災が発生しても素早く消火、安全に避難することが必要です。そのため、安全カルテを作るシステムが、「住宅防火診断」なのです。

診断方法は、消防署が住宅ごとに、家族構成や火気使用状況などについて総合的に診

断し、現状の評価と、改善対策を実施した場合の効果について、コンピューターを利用して数値で表示します。これにより、その住宅の火災防止および安全性のレベルをつかみ、改善すべき点があれば、できることから取り組んでいた方がいいというものです。

診断は、家族それぞれの火災時の消火・避難などの対応力、住宅の安全性の二つの柱から総合的にを行います。

■問い合わせ

伊達地方消防組合西分署
電話 3190

10月の納税

(納期限：11月2日)
・町県民税(第三期)
・国民健康保険税(第三期)

人口と世帯

10月1日現在(前月比)9月中のうごき

人口	男 5,767人 (-4)	転入	15人
	女 6,190人 (-6)	転出	29人
口計	11,957人 (-10)	出生	7人
世帯数	3,010戸 (±0)	死亡	3人

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対守ります。

(相談員)

10月23日(金)	高橋藤右工門・高橋恵子
11月5日(木)	高橋 隆雄・佐藤 節子
11月13日(金)	村上 金正・斎藤 洋子

2 よ み

10月 神無月(かなづき)	11月 霜月(しもつき)
17日(土) 薬と健康の週間	3日(火) 文化の日
18日(日) 統計の日	7日(土) 立冬
23日(金) 霜降	9日(月) 全国火災予防運動
24日(土) 国際連合デー	11日(水) 税を知る週間
27日(火) 読書週間	15日(日) 七五三



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

町政の現状を聴く

去る九月十四日午前十時より公民館講堂において、阿津賀志・成人学級、女性教室の合同学習会が行われ、約百六十名が出席して富永町長より「町政の現状と課題」について伺いました。

我が国見町のシンボルとして、その一日もはやい完成を祈らずにはいられない思いにかられました。

次に平成四年度の重点施策としての

- 一、活力のある町づくり
- 二、快適で住みよい町づくり
- 三、福祉と健康の町づくり
- 四、将来の国見町を担う人材育成
- 五、町民総参加の町政推進
- 六、行財政体制の充実

といった面から、具体的に町民一人当たりの町費の支出状況、企業誘致や農業対策、商店街の活性化、更に住む場所の確保や医療福祉の充実、運動公園用地の確保等、人づくり、町づくりの問題についてのきめ細やかな対策を聴きました。

そして、まさに我が国見町が「豊かで住みよい活力あふれるふるさとづくり」「心の豊かさを持った人間尊重の町



▲合同学習会で、町政の現状について講義をする富永町長

づくり」へ力強く邁進している実態がよくわかり、町政について一層の理解と関心が深まり、大へん有意義な学習会でした。

なお、今後このような学習会をぜひ継続してほしいという要望が寄せられました。

阿津賀志学級 研修旅行

野村チヨノ

すすきの徳波打つ初秋のさわやかな九月七、八日、研修旅行に参加しました。

松島をめざし二台のバスにて公民館を出発、最初に見学したのは瑞巖寺の境内及び洞窟でした。説明によると、洞窟内に千人の坊さんが修業していたとの事でした。



▲五大堂前にて

洞窟の前方は本道まで延びていたものを、いつの間にか現在のようち切断したので、前がきっちりして奥行が浅くなったそうです。

それから観瀾亭、松島博物館を興味深く見学した後、水族館へ行きました。館内のアシカショーでは、笑いの渦の中で盛大な拍子を送りました。続いていろいろな珍らしい魚を見学しましたが、マンボウの大きさと、サンゴの中を色とりどりの魚が遊泳している様子に驚いたり、よくもこんなに多くの種類の魚を集めたものだと感じました。

その後、鳴子温泉へ向かいましたが、私たちの宿舎は昨年できたばかりの本陣横屋の十階建ての新館で、そのきれいに驚き、大へん嬉しくなりました。

夜は学級生一同親睦を深めて有意義な時間を過ごして床につきました。

八日は鳴子は秋祭りで山車の囃子に送られて鬼首へ向かいました。十五分おきの熱湯の吹き上げが見所でしたが、一か所に減っており、やや物足りませんでした。

最後の見学は仙台市制百周年を記念して建立された天道

白衣大観音で、地上百メートル、地下二十一メートルの高さにまず驚きました。お顔を見上げれば暖かく柔和で慈愛そのものであり、思わず手を合わせ、拜まずにはいられない思いにかられました。

胎内巡りは時間が足りなく心残りでしたが、二日間の旅も終り、それぞれ見聞を広め、学級生の皆さんと交流を深め、充分研修の目的が達せられたと思います。

優勝 山崎Bチーム

町長杯ゲートボール大会

第十回町長杯ゲートボール大会が、十月六日、森山ゲートボールコートで開かれました。

大会には、開志みなぎる各地区の精鋭十三チームが参加。大会長の富永町長から激励のことがあり、前回優勝の藤田第二長寿会を代表して志村良七さんか力強い選手宣誓などがあって試合が開始されました。

熱戦の結果は次のとおり。

- 優勝 山崎B
- 準優勝 森山A
- 第三位 山崎A

あつかし第一

町内一周駅伝競走大会

- 1.主 催 国見町公民館
- 2.期 日 11月8日(日) 開会式 9:00 スタート10:00
- 3.コ ー ス 役場～高田～森江野小～共同調整所～光明寺公民館
～大木戸小～J A 石母田支所～J A 小坂支所～小坂
小～八巻石材～役場 10区間23.5km
- 4.参加資格
 - ・町民及び町内の職場に勤務している者。ただし、
上部団体登録者は除く
 - ・小学校区ならびに職場、職域で編成したチーム
- 5.種別と構成
 - 一般の部
 - ・男子…中学生2名、15歳以上20歳未満2名、
20代2名、30代2名、40代以上1名
 - ・女子…中学生以上1名
 - 中学生の部
 - ・男子、女子(1名以上)10名
 - 職場、職域の部
 - ・20代5名、30代3名、40代以上1名、女子1名
- 6.参加申込み 10月26日(月) まで公民館へ
- 7.監督会議 10月30日(金) PM 7:30より公民館で

連覇 滝山チーム

町長杯ナイターソフトボー
ル大会は、九月三日から十二
日まで県北中グラウンドで行
われました。

大会には、十八チームが出
場し、連夜天候に恵まれ、秋
気漂う中、激戦が展開されま
した。

試合の結果は次のとおり。

優勝 滝山チーム

準優勝 国見クラブ
第三位 塚野日チーム
森西チーム



▲滝山チームの皆さん

県警音楽隊演奏会

- ◎主 催 国見町公民館
- ◎日 時 平成4年11月7日(土) PM 1:30～
- ◎会 場 国見町町民体育館
- ◎演奏内容 マーチ、アニメのヒット曲、ドリル
演奏など
- ◎入場料 無料
～どなたでも自由に鑑賞できます～

方言で語る ふくしまの詩と民話を聞くつどい

- ぬくもりのある方言に出会い、ふれあい、そして心の豊か
さを取り戻しましょう。
- 1.主 催 国見町公民館
 - 2.期 日 平成4年10月30日(金) 午前9時20分から
 - 3.場 所 国見町公民館
 - 4.語り部 福島県方言を語る会会長 渡 辺 元 真先生
福島県方言を語る事務局長 村野井 幸 雄先生
その他、国見町より4名出演
 - 5.入場料 無料

行 事 の お 知 ら せ

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
10	16	金	・子育て教室(親子で絵を描く)	11	5	木	・子ども移動図書館(藤田小2年)
	21	水	・くにも女性教室研修旅行(鳴子峡方面)		6	金	・阿津賀志学級グループ学習(陶芸)
			・阿津賀志学級グループ学習(陶芸)		7	土	・県警察音楽隊演奏会
	22	木	・成人学級研修旅行(塩原方面 1泊2日)		8	日	・町内一周駅伝競走大会
			・子ども移動図書館(大木戸小)		10	火	・子ども移動図書館(森江野小)
	26	月	・子ども移動図書館(小坂小)		11	水	・くにも女性教室移動学習(料理)
	28	水	・子ども移動図書館(藤田小3年)				・成人学級(奉仕作業、マジック)
	29	木	・子ども移動図書館(藤田小1年)				12
	30	金	・ふくしまの詩と民話を聞くつどい		13	金	・子ども移動図書館(大枝小)
	備 考	・11月の子ども移動図書館の創作活動は、フェルト細工					



▲稲刈りに大喜びの児童の皆さん

小坂小学校(渡部正俊校長)では九月二十八日、児童全員が参加して稲刈りの体験学習を行いました。
 勤労体験学習をとおして、児童に勤労と収穫の喜びを味わってもらおうと毎年実施しているもので、かまを手にした児童たちが慣れない手付き

楽しい体験 稲刈り実習



わだ い

で稲刈りに挑戦していました。五月八日に児童総出で田植えを行い、この日の稲刈りを楽しみに待っていたのもので、お父さん、お母さん、それに先生の協力を得て、約二時間がかかりで作業を終えました。

立派な

藤棚が完成

森江野季節保育所の庭にこのほど、立派な藤棚が完成しました。



▲完成した藤棚の下で

この藤棚は、緑化推進コミュニティで進められていたもので、藤棚本体とベンチ二脚が擬木でつくられており、フジが四本植えられています。コミュニティ助成事業は、財団法人

人「自治総合センター」が全自治会、町内の環境美化に少しでも貢献しようと、JR藤田駅前で木の伐採や草刈りなどの奉仕作業を行いました。会の年間行事のひとつとして毎年行っているもので、こ

環境美化に一役

町土木建設業協会

町土木建設業協会(渡辺一會長)の会員の皆さんは九月二十二日、町内の環境美化に少しでも貢献しようと、JR藤田駅前で木の伐採や草刈りなどの奉仕作業を行いました。会の年間行事のひとつとして毎年行っているもので、こ



▲作業に取り組む会員の皆さん

の日は、会員全員、駅前町内会、JR関係者など約三十人が参加。駅舎から自転車置き場までの通行路を中心に、下草を刈ったり通行の妨げになる木の枝を落とすなどの作業を行いました。
 半日かかりの作業が終わると、周辺は見違えるほどきれいになりました。

見事な

運転技術を披露

国見、桑折両町のシルバード交通安全推進隊主催の「第一回桑折地区二輪車シルバード安全運転競技会」は九月十八日、桑折町の県北自動車教習所で開かれ、高齢者ライダーが運転技術を競いました。



▲8字運転に挑戦するライダー

十一日から二十日までの高齢者交通安全旬間に併せて、運転技術の向上と安全運転意識の高揚を図り、お年寄りのバイクによる事故を防止しようとして開かれたもので、両町から六十歳以上の原付バイク運転者四十八人が参加しました。
 富永町長、本田桑折署長のあいさつとあと、出場最年長の志村良七さん(81)が選手宣誓して競技に入り、スラロームや8字走行に挑戦。交差点での安全確認やバイクの基本操作に注意を払いながらコースを走りました。

桑折署の星交通係長らが交通ルールの遵守、運転技術などを審査した結果、佐藤市郎さん(第一)が優勝するなど、国見町のドライバーが上位を独占しました。

上位入賞者は次の通りです。

- 準備勝 大波幸治(第九)
 第三位 村上永一(貝田)

編集日記

○秋の全国交通安全運動期間中、県内では死亡事故が多発となりました。尊い命、ドライバーも歩行者も、もう一度安全確認をしたいものです。